

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表 （令和4年度分）

1. 認定の日付

令和4年7月29日

2. 認定事業適応事業者の名称

AS ブレーキシステムズ株式会社

3. 認定事業適応計画の実施期間

令和4年7月～令和9年3月

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

AS ブレーキシステムズ株式会社では、本計画において、CASE と呼ばれる百年に一度の自動車産業の変革期に直面する中で、世界的にカーボンニュートラルに向けた動きが加速化しており、将来に向けた更なる競争力の強化が必要な状況下で、車両の電動化、自動運転の進展に伴う電動パーキングブレーキ製品の更なる需要拡大に向けて電動パーキングブレーキ新製品の量産を進め、今後の事業の成長発展を図っていくこととしている。

令和4年度においては、必要な設備投資を実施し、新製品の売上につなげた。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

令和4年度（令和5年3月期）において、ROA は基準年度比で△13.4%となった。

また、MOC2.1 の売上高全体に占める割合は5.5%となり、計画比で2.9%増加した。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

財務内容の健全性の向上指標については、令和4年度は有利子負債／CF が△6.3 倍となり、経常収支比率が101.5%となった。

（4）実施した事業適応計画の内容

令和4年度においては、親会社である株式会社アイシンからの借り入れと自己資金により、事業適応計画の認定申請書別表2-2に記載した資産の一部を取得した。一部の資産は予定通り事業供用し、MOC2.1 の量産を開始した。

MOC2.1 の売上高全体に占める割合は5.5%となった。